

報告第9号

令和7年度第1回山陽小野田市文化財審議会会議の結果について

標記の会議を開催したので、山陽小野田市文化財審議会規則第5条の規定に基づき、別紙のとおり報告します。

令和7年9月25日提出

山陽小野田市文化財審議会
会長 土井 浩

会 議 録

会議名	令和7年度 第1回 山陽小野田市文化財審議会
開催日時	令和7年7月3日（木） 午前10時00分から午前11時45分
開催場所	山陽小野田市民館 2階 団体企画室
出席者	磯部吉秀委員、瀬口哲義委員、田畑直彦委員、土井浩委員、 畠中茂朗委員、山本明史委員
欠席者	なし
事務局	藤山雅之（教育部長）、山本修一（社会教育課課長） 三浦 裕（社会教育課課長補佐）、石田由記子（文化財係係長） 池田順哉（社会教育課）、若山さやか（歴史民俗資料館館長）
会議次第 及び結果	1 開会のことば 2 辞令交付 3 教育部長あいさつ 4 委員・事務局紹介 5 議 題 （1） 会長・副会長の選出について 会長に土井委員、副会長に磯部委員を選出 （2） 山陽小野田市未指定文化財について （主な意見） ・県の近代和風建築の調査において、山陽小野田市でも最終選考まで残った建物（中村家住宅、山田家）や、日産化学株式会社の第一クラブについて調査していただきたい。 ・未指定文化財リストに対象になりそうなものをあげるだけあげ、近代産業遺産群やふるさと文化遺産の登録なども検討してみてはどうか。 ・中村家の蔵に古文書が多くあったと記憶している。一度、見せてもらってはどうか。 ・青年の家の建物内に陶板のモニュメントがあったと思う。文化的価値があるかを検討していただきたい。 ・小野田セメントの会社資料について、文化財の指定は難しいかもしれないが、貴重な資料であるので保存できるように動いてもらいたい。 ・小野田セメントに関する資料は、このまちの原点と考える。残していくべきである。 ・「古文書」というと江戸時代までの文書と思われているが、今は、近代の文書も歴史的価値があると思われる。和風建築や近代の雑誌、新聞なども今後は資料となりうると考える。 ・文書などの文化財については、デジタル保存を考える必要がある。

	6 その他 ・ふるさと文化遺産「コーストウォーク～海岸線から見る情景～」の登録完了について報告 ・国指定重要文化財「旧小野田セメント製造株式会社竪窯」修復工事の進捗状況について報告 ・市指定文化財「小野田の皿山用具」の状況について報告 ・歴史民俗資料館企画展の紹介 7 現地視察 (1) 風水害救援感謝碑 (2) 勘場屋敷
--	---